

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

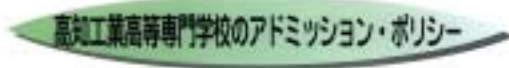
観点 4 - 1 - 1 : 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜（例えば、準学士課程入学者選抜、編入学生選抜、留学生選抜、専攻科入学者選抜等が考えられる。）の基本方針などが記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に公表されているか。

(観点に係る状況)

本校における多様な入学者選抜は、本校における教育方針を土台とし、アドミッション・ポリシーに基づいて行われる。本校本科の教育方針は、「学生自らすすんで実践することによって、学問的、技術的力量を身につけ、徳性を養い、将来、創造力のある風格の高い人間・技術者として国際社会を主体的に生きることを目指させる。」である。本科では、この教育方針に基づいた本教育プログラムの学習・教育目標が達成可能な資質を有する学生を厳格に選抜することを基本方針とし、そのためのアドミッション・ポリシーを（資料 4-1-1）に示すとおり明確に定めている。

専攻科では、その教育目的、「高等専門学校などの高等教育機関において、工学の基礎と実践的技術を修得した者に対して、さらに2年間の高度で専門的な技術・学問を教授することによって、実践的かつ創造的な研究開発能力を持つ高度な技術者を育成すること。」並びに教育方針、「実践的技術を駆使する研究開発能力、創造能力をもつ技術者の育成、広い視野を持ち、国際性に優れ、協調性と指導力のある風格の高い人間・技術者の養成」に基づき、本教育プログラムの学習・教育目標が達成可能な資質を有する学生を厳格に選抜することを基本方針とし、アドミッション・ポリシーを（資料 4-1-2）に示すとおり明確に定めている。

(資料 4-1-1)「本科のアドミッション・ポリシー」



高知工業高等専門学校（高専）は、本科5年と専攻科2年の7年間一貫した教育プログラムのもとで、地域や世界に活躍できる実証的・研究能力を具えた人材を育成します。高い志を持ち、挑戦を厭わない若人の入学を心から歓迎します。

高知高専本科は、「夢を叶けて活躍できる人」の中で、

- ・探求心や夢を膨らませている人
- ・挑戦と好奇心を持って取り組んでいく人
- ・協力があがり自ら進んで実践できる人
- ・国際社会に貢献したいという志を持っている人
- ・世界を舞台に活躍したいというチャレンジ精神のある人

をもち、若いときから工学や技術に関心を持ち、心の豊かさとともに成長することを望みます。

中学校で、「数学」や「理科」が好きで、「技術」が得意な人、クラブ活動や社会活動で活躍し、よりボランティア活動に積極的に関与した人などを歓迎します。

【機械工学科】
機械工学科では、自動車やロボット、ITなど多岐にわたる幅広い分野で大小さまざまな「モノ」作りのための幅広い知識をします。このため、本学科では次のような人を求めています。

- ・エネルギー・材料・構造物など幅広い分野に関心があり、自ら挑戦できる人
- ・「モノ」作りや「からくり」などに興味があり、好奇心旺盛な人
- ・志と夢があり、グローバルな視野に立って人々の豊かさを支えることに貢献したいと思っている人

【電気工学科】
電気工学科では、電子や情報などの基礎技術の上から、エネルギー・電子・構造物・通信など電気に関する幅広い分野の知識をします。このため、本学科では次のような人を求めています。

- ・電気に関わる幅広い分野に関心を持っている人
- ・「モノ」作りや新しいことへの挑戦が好きで、好奇心旺盛な人
- ・目標を達成するために自ら力を尽くして挑戦に挑戦することができる人

【情報工学科】
情報工学科では、化学材料・通信・構造物・構造物など幅広い分野の基礎知識を習得します。このため、本学科では次のような人への入学を歓迎します。

- ・工学や生物に関する技術者になりたいという夢を持っている人
- ・自然現象に興味を持ち、もっと詳しく知りたいと思っている人
- ・科学や自然現象に関心があり、協調性のある人

【建築システム工学科】
建築システム工学科では、建築・防災・構造物などの科目を広く学び、幅広い専門分野の基礎知識を習得します。このため、次のような人への入学を歓迎します。

- ・建築技術を通じて、社会の発展に貢献したいと思う人
- ・災害に強いまちづくりに関心を持っている人
- ・自然と調和した建築構造物に興味を持っている人

(出典 高知高専ガイド 2006 P.2)

(資料 4-1-2)

「専攻科のアドミッション・ポリシー」

4. 専攻科のアドミッション・ポリシー

高知高専専攻科は、グローバルな視野で、協調性と論議力を発揮しつつ、実践的かつ創造的な研究開発を推進する能力を持った技術者を養成することを目的としています。このため、本専攻科では次のような方への入学を歓迎し、求めています。

- ・工学の根本を徹底的に理解した人
- ・個人として、より高い可能性に挑戦しようとする人
- ・新しい社会の創作者として、豊かな人間社会の発展に貢献したいという熱意のある人

なお、本科の学習成果をさらにレベルアップしたいと考えている人はもとより、実社会で活躍しながらキャリアアップを考えている人、生涯学習の一環として人生の第二の志業を築きたいと考えている人などを歓迎します。

【機械・電気工学専攻】
機械・電気工学専攻では、

- ・機械または電気の専門的基礎力を有し、「モノ」作りに対する熱意を持っている人
- ・幅広い教養と、機械あるいは電気の学問をさらに探求したいと志している人
- ・機械と電気の両分野にまたがる学際領域の技術の創造および活用を計画している人を求めています。

【物質工学専攻】
物質工学専攻では、

- ・化学や物理に関する基礎と実践的技術の基本を修得した人
- ・人間と自然環境との調和・共生に積極的に取り組める人
- ・自然現象の理解や説明に好奇心と意欲を持っている人を求めています。

【建築工学専攻】
建築工学専攻では、

- ・建設に関する構造力学、建築工学、水理学、建設材料学などの基礎を習得している人
- ・建設に関する調査、設計監理などの実践的技術の基本を修得している人
- ・自然と共生し、豊かで安全な社会の構築に熱意を持っている人を求めています。

(出典 平成 18 年度専攻科学生募集要項 P.14)

(分析結果とその根拠理由)

本科の選抜方法及びアドミッション・ポリシーは「学生募集要項」で公表している。本科入学者選抜方法の概略は、「中学生のみなさんへ 2004 高知高専ガイド」で公開し、同時に高知高専ホームページの「中学生のみなさんへ」の中でも公開している。選抜方法の詳細は「学生募集要項」により入学志願者等に公表している。各選抜の実施については、「入学者選抜検査実施要領 推薦」、 「入学者選抜検査実施要領 学力」に明記し、公正かつ厳格に行うことを旨としている。また、編入学者選抜については「編入学生募集要項」で公表し、選抜方法の実施については、「編入学者選抜検査実施要領」に明記している。

専攻科の選抜方法及びアドミッション・ポリシーは「専攻科学生募集要項」で公表している。募集にあたっては、本校本科及びそれと同等な他の高等専門学校の卒業見込学生、更にはその他の卒業生や社会人を対象として広く志願者を募っている。専攻科の入学者選抜の概略は、専攻科紹介パンフレットと高知高専ホームページの「専攻科」の中で公開している。選抜方法の詳細は「専攻科学生募集要項」により公表している。

以上のことより、教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針などが記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、学校の教職員に周知されている。また、将来の学生を含め社会に公表されている。

観点 4 - 2 - : アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

(観点に係る状況)

本校への入学者が本校の求める学生像・アドミッション・ポリシーに沿っているためには、入学者の母集団である受験者全体がアドミッション・ポリシーに沿った学生を多く含むことが必要であると考えている。そのための主な活動として、各年度の 6 月から 7 月にかけて高知県内ほぼ全ての中学校を訪問し、中学生とその保護者及び中学校の進路指導担当の教員などを対象として、高知高専紹介ビデオや紹介資料「中学生のみなさんへ 2004 高知高専ガイド」等を用いて PR してアドミッション・ポリシーを周知徹底するとともに、学科をそれぞれ紹介するパンフレットの配布を行い、中学校との情報交換や本校に対する要望などの吸い上げを行っている。

さらに、平成 5 年度からは毎年度の 9 月中旬に「体験入学」(資料 4-2- -1)を実施し、中学生、保護者及び中学校教員の本校に対する理解を深めてもらうように努めている。この行事では、本校の概要説明、主要施設・設備の見学、及び各学科別のいくつかの体験学習を実施している。加えて、平成 14 年度から本校教員が中学校へ出向いて行って体験授業「出前授業」(資料 4-2- -2)や、平成 12 年度からは 8 月から 11 月の期間に、特に近隣小学校あるいは中学校の生徒を対象とした「キャンパスアドベンチャー」(資料 4-2- -3)と称するミニ公開講座を実施し、児童・生徒の理科離れの防止と本校の紹介に努めている。また、平成 14 年度より並行して進学塾への訪問を始め、塾生への紹介資料の配付を依頼し、情報交換を行っている。

一方、専攻科学生の選抜に当たっては、本校 4, 5 年生に対する進路指導の一つとして、専攻科の教育方針や意義を折に触れて説明するほか、専攻科紹介パンフレットを全国の高等専門学校、および従来卒業生の就職先として実績のある企業を中心とした産業界に配布し、学習・教育目標の達成に必要な資質をもったできるだけ多くの学生および社会人に対して本校の教育方針やアドミッション・ポリシーへの関心を持たせるように努めている。

(資料 4-2- 1)「体験入学」

体験学習のテーマ一覧表

平成16年9月15日(水) 13:00~15:00

高知工業高等専門学校

(2枚中1枚目)

番号	テーマ	内容	定員	集合場所	実施場所	担当学科
1	無線LANロボットAIBO君とネットワークを探検!	無線LANロボットAIBO君と一緒にコンピュータ・ネットワークの世界を探検してみませんか。ネットワークでAIBO君を動かしたりして、ネットワークの仕組みや無線LANについて勉強しましょう。	20人	情報処理センター演習室	同 左	情報化推進室
2	コンピュータでアニメーションを作ろう	数式処理ソフト Mathematica を用いて図形のアニメーションを作成する方法を体験しましょう。	30人	専攻科棟 2階 パソコン室 1	同 左	数理科学系
3	LEGOで学ぶ物理	LEGOブロックを使った実験装置(おもちゃとも言える)を組み立てての物理実験。力、電気、エネルギーについて、体験を通して学習しましょう。	10人	一般科棟 3階 西端の教室	同 左	
4	手作り簡易真空ポンプで遊ぶ真空実験	手作り簡易真空ポンプを作って真空の不思議な現象を体験しましょう。	10人	専攻科棟 1階 創造科学実験室	同 左	機械工学科
5	手作りロボットコンテスト	模型用モータとパーツを組み合わせて歩行ロボットを作り、ロボットが歩くメカニズムを体験しましょう。	20人	機械工学科棟 3階 M5教室	同 左	
6	金属を溶かして置物づくり	金属も高温(1000 前後)にすると液体になります。これを鋳型を作って型に流し込み製品にしましょう。この技術は自動車のエンジンなどに利用されています。体験入学は、アルミニウムを溶かして鯨のレリーフを作る予定にしています。	約10人	機械実習工場	同 左	
7	ウインドカーの製作とタイムレース	風上に向かって走るウインドカー(風力自動車)を作り、完成後タイムレースをしましょう。	20人	機械工学科棟 2階 製図室	同 左	
8	“レーザ”って何?	レーザとロボットを使ってペンダントを作ります。ほんのひととき、技術者になった気分を味わってください。製作したものは記念にお渡しします。高専受験の方には強いお守り替わりになるかも・・・	約10人	機械実習工場	同 左	電気工学科
9	災害時でも聞こえる無電源ラジオの製作	ゲルマニウムラジオを作って、電池を使わずラジオ放送を聴く仕組みを学びましょう。また、ラジオ放送の仕組みについても簡単に教えます。作ったラジオは家に持って帰れます。	40人	電気工学科棟 3階 電子実験室	同 左	
10	小型風力発電装置を作ろう	風力発電の基礎知識を学び、実際に高知高専の巨大風車(専攻科棟屋上)の見学をします。また、ペットボトルで風車を作り、その風車によって発光ダイオードを光らせる小型風力発電セットを製作します。作品は家に持って帰れます。	10人	専攻科棟 4階 講義室 1	同 左	
11	電気自動車に乗ろう	環境に優しい電気自動車の仕組みを学んだ後、高専で作った2台の電気自動車に試乗しましょう。自分で運転できるミニカーもあります。 http://www.ee.kochi-ct.ac.jp/~nomura/kessaku.html で見られることもできます。	20人	電気工学科棟 1階 電応実験室	一般科棟北側通路	

物質工学科、建設システム工学科の学習テーマは次ページにあります。

体験学習のテーマ一覧表

平成16年9月15日(水) 13:00~15:00

高知工業高等専門学校

(2枚中2枚目)

番号	テーマ	内容	定員	集合場所	実施場所	担当学科
12	おもしろ化学実験	科学の不思議と楽しさを実験を通して体験しましょう。 (1)グニャグニャ動くスライム 磁石に吸い寄せられるスライム作りに挑戦! (2)ガラス細工 ガラス棒やガラス管をガスバーナーで溶かして細工します。あなたもガラス職人になれるかな? (なおどちらもお土産があります。)	40人	物質工学科3階 西側 分析化学 実験室	同 左	物質工学科
13	DNAに触れてみよう!	人間を含めてすべての生物は「DNA」といわれる化学物質に遺伝情報が組み込まれ、このDNAによって「生命の営み」が支配されています。 今回は植物(ブロッコリー)のDNAを化学処理によって取り出して実際にさわったり観察します。うまくDNAを取り出せた方はお持ち帰りもできます。バイオテクノロジーに興味のある生徒さんは是非、参加してください。	16人	一般科棟1階 「化学実験室」	同 左	
14	平成南海地震がくるぞー!あなたは大丈夫?	南海地震を知っていますか?この地震は、高知県に非常に大きな被害を及ぼし、近い将来必ず起こるといわれています。津波や建物の倒壊・地盤の液化化など、地震が起こるとどうなるのか?模型実験などを使って詳しくわかりやすく説明します。 また、南海地震が起こったときにどうすればいいのでしょうか?何を持ってどこに逃げればいいのでしょうか?平成南海地震に備えて、準備をしましょう。	20人	専攻科棟1階 建設工学専攻実 験室	同 左	建設システム工学科
15	地震に強い構造物?・・・間違いない!!! (° ^ °)	木隼と溶接棒で簡単な倒立振り子を生徒に作成してもらい、振動台をいくつかの強震記録で加振して、それに載せた作品の挙動を観察する。日本では古くから石像アーチ橋が建設されてきました。このような組積構造は一般に自然災害に対して弱いと思われがちですが、地震国日本で石造アーチ橋は未だ数多く現存しています。ここでは石造アーチ橋について、まずコーンビフ缶を使ったミニチュア模型を学生に作成してもらい、石橋の基本的な構造と力学理論を理解した上で、実際に人が渡れる大きさの模型を生徒たちと一緒に作成する。	10人~20人	建設システム工 学科棟構造実 験室及び屋外実 験場	同 左	
16	フリーソフトのJW-WINを使って家の平面図を作成しよう	コンピュータを使って、お家の間取りをデザインしてみよう。専門家も使っているフリーのソフトJW-WINを使います。ご家庭のパソコンでもできます。	20人	専攻科棟2階 パソコン室2	同 左	
17	川の水のきれいさ調べとセメントを使ったおもしろ実験	皆さんの身近な川や池の水はきれいですか?魚や昆虫が棲める川かどうかを水の分析をして確かめてみましょう。また、建設材料の大黒柱であるセメントを利用して、簡単な強さ実験とおみやげにきれいな装飾品を作ってみましょう。	20人	建設システム工 学科棟1階コン クリート実験室	建設システム工 学科棟1階コン クリート実験室 および環境実験 室	

(出典 平成16年度体験入学実施要項P.)

(資料4-2- 2)「出前授業」

No.	氏名	テーマ	内容紹介	所要時間	対象学年
人文科学系					
1	大野三徳	アジア世界の伝統と文化について	私たちが暮らしているアジアの世界には、豊かな自然に育まれた長い歴史の伝統があります。それは、私たちの物の見方・考え方、私たちをとりまく生活の様式、あるいは生活用品の中にさりげなくうけつがれています。講義の中では、そうした文化的伝統の中から、「茶の文化」、「漆の文化」、「色彩と形(模様)」、「海人族の文化」、「宇宙観の特徴」等、適当なテーマを選んで、アジアの文化の伝統と人々の心に付いて考えてみたいと思います。	50-90分	中学生
2	池谷江理子	グローバル化とわたしたちのくらし	食べ物、音楽、映画・・・外国の産物、文化に接する機会が増えました。一方、テレビでは海外で活躍するスポーツ選手や科学者のニュースが報道されています。国境を越え、地球規模でもの事が動き始めているようです。体験を通し、グローバルセッションの光と影について考えてみましょう。	50分程度	小学5年生以上、中学生
3	池谷江理子	ジェンダーとわたし	1人、1人の人間が互いに協力して社会をつくっていくためには、お互いの人権を尊重することが基本となります。女子と男子がお互いに協力する社会づくりのため、「ジェンダー」について学んでいきたいと思っています。	50分程度	小学5年生以上、中学生
4	池谷江理子	イギリスに出かけてみよう	イギリスの自然や歴史・文化等について、写真や映像等を使いながら、自分が旅するようにバーチャルな体験をしてみましょう。	50分程度	小学高学年、中学生
5	佐々木正寿	世界の人々と手をつなぐために 現代世界の道徳について	「世界」は誰の眼にも同じように映っているのでしょうか。そんなはずはありません。それなのに、ひとつのものの見方で「世界」の出来事を判断するとしたら、それは危険です。いろいろな人々が暮らす現代世界に求められる「道徳」について話します。	50分程度	小学高学年、中学生
6	西村淑子	友達について書いてみよう	英語の Paragraph を説明し、書き方指導をします。主題文、支持文、まとめの文を整理して要領よく書くことを学びます。友達とのインタビュー活動を通して、多くの情報を取得し、書いてみましょう。	1時間-2時間	中学2-3年生
7	宮川敬春	インターネットのホームページを使って、英国の学校生活を学ぼう	インターネットのホームページを見ると、英語を通して各国の文化に触れることが出来ます。英国の学校には独自のホームページを持ち、学習生活や勉強をしている生徒の様子を伝えているところも多くあります。英語を学習し始めた中学生を対象に、易しく、興味深い内容のホームページを読みながら、英語の発展的な学習をしてみましょう。	50分程度	中学生
8	大嶋秀樹	ニュージーランド・オーストラリアの生活	南半球の国、ニュージーランド・オーストラリアの自然・人々・町や暮らしについて紹介します。	50分又は90分	小学3年-中学生
9	赤山幸太郎	批評理論への招待	「事実(真実)」とは何か、を考える。	50分程度	中学生
数理科学系					
10	後藤章	群のはなし	かたち対称性をしらべる「群」について、正方形を例に具体的に考える。	50分程度	中学生
11	白木久雄	図形の見方	一見違った図形も「図形の見方」によっては、同じ性質をもったものとみなされることがあります。さまざまな図形を見ながらこのことを調べましょう。そして、一つの例として図形の長さや面積あるいは角度などに関係しない性質「一筆書き」をとりあげます。いろいろな図形を参考にしながら一筆書きができる図形の特徴について説明します。	50分程度	小学4-中学3年
12	端平雄	レゴ組み立てロボットキットによる工学入門	レゴブロックで動くものを作り、ものが動く仕組みについて学習します。力の強さや向きを変える方法、力を伝える方法などを自分の手で学びます。	3時間	小学高学年、中学生
13	端平雄	レゴ組み立てロボットキットでエネルギーを学ぶ	レゴブロックを使って自分で実験道具を組み立てて、仕事とエネルギーの関係やエネルギーの変換について学習します。	3時間	小学高学年、中学生
14	尾崎信一	実験によって「酸性雨」を考えてみよう!	酸性雨の原因になる物質にはどのようなものがあるだろうか。身近なものを燃焼させて酸性雨をつくってみよう。また、土壌には酸性雨の影響をやらげられるはたらきがあることを確かめ、湖沼の生物の死滅や森林破壊などが、自然の回復力をはるかにうまわる強い酸性雨によって引き起こされていることを考えてみよう。	120-150分	小学高学年、中学生
15	尾崎信一	電気を伝える水溶液	身の回りには、いろいろな物質が溶けている水溶液があります。この水溶液には電気を通すものと、通さないものがあります。簡単な電導度計を自作して水溶液の電気の通しやすさを調べ、溶けている物質の種類や濃度との関係について考えてみましょう。	120-150分	中学生
16	秦泉寺俊弘	ふしぎな数のおはなし	ふしぎだと思ふ気持ち、科学に興味をもつための第一歩です。算数や数学の感覚を幅広く学ぶためにも、ふしぎに思ふ心を育み、日常生活や社会の中にある算数・数学を感じていただけるような話をしたいと考えています。	45分(小学), 50分(中学)	小学4年-中学3年

途中省略

建設システム工学科					
47	吉川正昭	切迫する南海地震対策-巨大地震から自分の最も大切な物を守るために-	巨大地震から自分の大切な物を守るための対策として以下の項目を解説します。 なぜ地震が起こるのか発生メカニズムを説明 地震予知はできないのか 地震でどのように家が壊れるのか 家を壊さないようにする工夫 上記項目についてビデオなどを用いて具体的に説明します。	1時間程度	中学3年生
48	勇秀憲	橋の色はどんな色?	橋のある景観は、橋の形・種類・色・周囲の背景などに影響を受けます。その中で特に、景観の色彩を取り上げ、カラーイメージと橋の景観の関係性を調べます。	1時間程度	小学校高学年、中学生
49	山崎利文	地理情報システム(GIS)で活用する地域の情報	電子地図とデータベースを統合した地理情報システム(GIS)を使って地元の地域情報の活用を紹介します。地理科学の最先端を説明します。	50分または100分	小学校高学年、中学生
50	山崎利文	最先端測量技術(ハイテクサーベイ)の紹介	最先端の測量技術を紹介します。	50分または100分	小学校高学年、中学生
51	横井克則	コンクリートのはなしと実験	皆さんのまわりを見ると、コンクリートでできたものがたくさんあります。コンクリートの材料は何でしょうか。また、どのようにかたまって、どれくらいかたいのでしょうか。車上でもできるセメント・コンクリートによるものづくり体験を通して、セメント・コンクリートへの理解を深めます。	2-3時間	小学生以上
52	山崎慎一	汚れた川や池の水をきれいにしてみよう	あなたの身近な川や池の水は汚れていませんか?魚や昆虫がすみやすいかどうか確かめたり、汚れた水をきれいにするにはどうしたらよいかを実験をして一緒に考えてみましょう。	1時間程度	中学生
53	海田辰将	強いのかた?	私たちの生活は様々なかたちをした物によって支えられています。同じ材料を使っても、四角形と三角形では強さが全く違うように、強い構造物のかたちには意味があるのです。ダンボールを使った椅子作りを通して、かたちと強さについて理解を深めます。	2-3時間	中学生

(出典 平成17年度 出前授業テーマ一覧表)

(資料 4-2- -3)「キャンパスアドベンチャー」

キャンパスアドベンチャー(大学等地域開放事業)

テーマ	対象	場所	
中学生のための理科実験(物理・化学編)	中学生	本校	
モーター製作・乾電池製作(仮)	小学高学年～中学生		
電気・電子関係実験講座	中学生		
金属を使って、理科の実験をしてみよう！	中学生		
遺伝子をとってみよう！	中学生		
物質の色の話	中学生		
地球にやさしいプラスチック	小学高学年～中学生		
ガラスのお話とペーパーウェイトの作成	中学生		
果物電池を作ろう！	小学生		
汚れた川や池の水をきれいにしてみよう	中学生		
ブリッジコンテスト	中学生		
4足歩行ロボットを作ろう	中学生		家戸少年自然の家
モーター製作・乾電池製作(仮)	小学高学年～中学生		
電気・電子関係実験講座	中学生		
遺伝子をとってみよう！	中学生		
物質の色の話	中学生		
地球にやさしいプラスチック	小学高学年～中学生		
海藻から紙を作ろう！	小学生		
果物電池を作ろう！	小学生		
汚れた川や池の水をきれいにしてみよう	中学生		
ブリッジコンテスト	中学生		

出典 高知高専ホームページ「キャンパスアドベンチャー2002」のページ

<http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/adv2002/adv2002aut/adv1.htm>

本校への選抜を行う入学試験は、中学校から本科への入学選抜、本科への編入学選抜、本科への留学生選抜および専攻科の入学者選抜が行われている。

・本科の入学者選抜

本科への入学者選抜は、推薦入試と学力入試とに分けられる。推薦入試では、観点4・1・ で述べた学校全体および学科毎のアドミッション・ポリシーに基づいて質問事項を分類して面接を行い、受験生の適正を評価している。一方、学力選抜では、全国立高等専門学校で共通の問題を使用し学力評価によって選抜を行っているため、学生選抜の自由度は限られている。しかし、4学科の志望学科を第3志望まで選択させ、入学志願者の志望・適性などを満たすよう配慮し、中学校長から提出された健康診断書の結果及び調査書に基づく評点と、本校で実施する学力検査による評点から総合的に選抜している。平成15年度入学者選択から、優秀な人材を確保するために入学定員に対する推薦入学者の割合を従来の30%から50%に拡大した。

本科への編入学者選抜では、昭和49年度に、工業高等学校卒業者を第4学年に受け入れる編入学試験を全国高専に先駆けて実施した。さらに平成7年度には普通高等学校からの編入学受験も可能とし、本校の「開放型」教育をさらに進めてきた。この本科編入学者選抜においては、先に示した本科アドミッション・ポリシーに準じた編入学者向けのアドミッション・ポリシーを策定し、「編入学学生募集要項」の入学案内で公開している。本科への留学生選抜では、平成元年度からは継続的に年間数名の留学生を第3学年に受け入れている。すべての留学生は文部科学省の所定の資格審査に合格した学生である。編入学生及び留学生に対しては、各学年で「編入学生特別科目」、「留学生特別科目」を個別に設定し、各学科の学習及び教育目標を達成できるようにしている。

・専攻科の入学者選抜

専攻科入学試験は、推薦による選抜(推薦書、小論文、面接・口頭試問など)、学力による選抜(英

語・数学・専門科目の学力検査、面接など）及び社会人特別選抜（推薦書又は業績調書，小論文，面接・口頭試問など）の3つの方法で平成12年度から実施しており，これらの結果を総合的に評価して，合格者を選抜している。なお，学力選抜は，平成14年度から前期（6月）と後期（11月）の2回実施し，資質の高い技術者志向の学生の確保を目指している。

（分析結果とその根拠理由）

受験生全体をアドミッション・ポリシーに近づけるべく，年間を通して学校の教育の趣旨を広く中学生に伝える努力を行っている。推薦入試については，面接内容をアドミッション・ポリシーに沿って分類した学科毎の面接を実施して，アドミッション・ポリシーに沿った学生の選抜に努めている。一方，本校本科の一般入試は全国一律の選抜方法に則っており，アドミッション・ポリシーに沿った選抜を行うことには限界があり，更なる工夫が必要である。

以上のことより，目的の達成状況がおおむね良好である。

観点4-2-2 : アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証しており，その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

（観点に係る状況）

学校紹介では，中学校との相互情報交換や本校に対する要望などの吸い上げを行い，「体験入学」を実施したのち，中学生，保護者及び中学校教員に対してアンケート調査を実施し集計し，その結果を入学者選抜の改善に役立てている。

また，入学者全員に対して，1年生合宿研修を行い本校のアドミッション・ポリシーを確認するとともにアンケート調査（資料4-2-1）を実施し集計し，その結果を入学者選抜の改善に役立てている。

（分析結果とその根拠理由）

中学生，保護者及び中学校教員等に対してアンケート調査を実施し集計し，その結果を入学者選抜の改善に役立ており，入学者全員に対してもアンケート調査を実施し集計し，その結果を入学者選抜の改善に役立てている。ただし，入学者数の確保に主眼がおかれており，今後入学に至らなかった生徒の意見や，入学者の追跡調査等も必要と考える。

以上のことより，目的の達成状況がおおむね良好である。

(資料 4-2- -1)「新入生アンケート調査」

平成17年4月27日

平成17年度新入生アンケート集計結果

4月14日、15日に親友生に対するアンケート調査を行いました。その集計結果がまとまりましたので、報告させていただきます。学生指導や今後の中学生募集に際しての参考にしていただければ幸いです。(注)網掛け数字は、他と比べ比較的大きいことを表す。説明の(内)はクラス

教務主事 前田公夫

4. 高専受検を決意した時期

Table with columns for school type (小学校, 中学校1年, etc.), gender (M, F), and class (H17-H11). Rows show the number of students who decided to take the exam at each stage.

5. 高専進学への動機

Table with columns for reasons (中学校の先生の勧め, 保護者の勧め, etc.), gender, and class. Rows show the number of students for each reason.

16. その他の内容

6. 高専に関する情報

Table with columns for information sources (高専の進学説明会, ハンフレット, etc.), gender, and class. Rows show the number of students who obtained information from each source.

14. その他の内容

7. 入学した専門学科への動機

Table with columns for reasons (学科決定は自分の希望, 入学した専門学科への動機, etc.), gender, and class. Rows show the number of students for each reason.

9. 高専進学説明会

Table with columns for participation (進学説明会, 参加した, etc.), gender, and class. Rows show the number of students at the event.

10. 進学説明会で最も参考になったもの

Table with columns for materials (資料, ビデオ, 高専の先生の説明), gender, and class. Rows show the number of students who found each material helpful.

11. 進学説明会についてのご意見

ビデオが高い(M)、興味をもてほしい(M)、機会と電気の比較例をもう少し詳しく(M)、わかりやすかった(M)、どの科がどんなことをするのかも詳しく説明してほしい(E)、部活の成績などもハンフレットに載せたらいい(E)、説明を聞いて興味があった(E)、ビデオの映像が良く見えにくかったので、もう少しきれいな映像にしたらいいい(E)、面白くてテンポよく話をしてもらいたかった出ないかと眠くなる(C)高専に入るきっかけにもなり良かったと思う(C)、高専は説明より面白い学校と思うのもでいい(E)と思って(Z)、参加人数を増やしてほしい(Z)、もう少しビデオを生かしたらいいと思う(Z)詳しく(Z)、遅刻してきたので余裕を持ってほしい(Z)

12. 昨年度の体験入学への参加

Table with columns for participation (体験入学, 参加した), gender, and class. Rows show the number of students who attended the event.

13. 参加しなかった理由

Table with columns for reasons (遠距離のため, 学校行事のため, etc.), gender, and class. Rows show the number of students for each reason.

4. その他の内容

・病気のため(M)

14. 体験入学の実施時期

Table with columns for timing (実施時期, 早すぎる, etc.), gender, and class. Rows show the number of students for each timing.

15. 体験入学についてのご意見

もっと詳しく説明してほしい(M)1つ1つ説明してくれたのでとてもわかりやすかった。(M)Eもう少し運良く実施してほしい(M)もっと詳しく聞きたい(E)・授業の体験ができて良かった(E)・自分で好きな実験ができて良かった(E)・体験実習のもう少し詳しい説明が欲しい(C)・実験などができておもしろいという気持ちも強くなった(C)・高専に入りたいと思えた(C)・もう少し涼しい時期にして欲しい(C)・今のままでいい(Z)・楽しかった(Z)・1-3年のクラスを見学できればよかった(Z)・先輩が優しく押してくれたので良かった(Z)遠方から来る人もいるので土・日に実施したらいい(Z)・体育祭の総合練習とちょうど日が重なっていたので調節してもらいたい(Z)

16. 高専卒業後の進路

Table with columns for career paths (卒業後の進路, 就職, 大学編入, etc.), gender, and class. Rows show the number of students for each path.

M科は1と2の両方回答

17. 高専に入学した現在の気持ち

Table with columns for feelings (現在の気持ち, 満足している, etc.), gender, and class. Rows show the number of students for each feeling.

M科は2と3の両方に回答、E科は1名無回答、C科は3と4に回答

18. 高専に望むことは

楽しくわかりやすい授業にして欲しい(M、E)・うるさい学生には厳しく対応してほしい(M)・実習を増やしてほしい(M)・5年間ちゃんと勉強について行き、卒業できるようにがんばりたい(E)・専門的な知識を沢山得たい(E)・技術的なこと、一般科目、両方の深い勉強がしたい(E)・ふつうの高校では教えてもらえないような高専らしい教育をがんばってもらいたい(Z)・授業をもう少しゆっくり進めてほしい(Z)・60点は厳しすぎる50点にしてほしい(Z)・勉強がわかるようわかりやすい授業説明をお願いします(E)・色々な行事を作ってください(Z)・部活は土・日を休みにしてほしい(Z)・休み時間が短い(C)・昼休みをもう少し(5分くらい)のばして欲しい(C)・数Bの授業をもう少しゆっくりおもしろい(C)・未永く見守って欲しい(C)・博士になる(C)・女子が少ない(C)・女子がなじみやすい環境にして欲しい(C)・寮での時間規制がちょっときつい(M)・寮が汚いので、各自自分の部屋を掃除する時間を作ってください(C)・寮の食事をもっと美味しく(E)・冷水箱をつけて欲しい(M)・入浴・食事の時間を延長してほしい(E)・コアタイムを短くしてほしい(E、Z)・携帯ゲームの持ち込み可にして欲しい(E)・軽部活を再開してほしい(M)・前年させないで、5年で卒業させてください(Z)・寮の門限をもう少し延ばしてほしい(Z)

(出典 平成17年度 高知高専新入生アンケート調査結果資料より抜粋)

観点 4 - 3 - : 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

(観点に係る状況)

過去 5 年間の入学者選抜状況(志願者数, 入学者数)を(資料4-3- -1)に示す。本科の入学定員は、各学科とも40名である。平成13年の機械工学科で41名となっているが、その他はすべて40名で定員どおりである。専攻科が本校に設置されてから現在までの入学状況を(資料4-3- -2)に示す。

機械・電気工学専攻が定員 8 名のところ 9 名~11名, 物質工学専攻が定員 4 名のところ 4 名~7名, 建設工学専攻が定員 4 名のところ 5 名~8 名であり, 定員オーバーがあるものの下回る状況にはなっていない。

(分析結果とその根拠理由)

現在は、本科については定員どおりであり全く問題ない。専攻科では、本科での卒業研究を引き継いで専攻科学生が取り組むケースが多いが、入学定員を多少超えても専攻科担当教員が指導できる状況にあり問題ない。ただし、本校では、全専攻課程が JABEE の認定評価を受けてパスしており、今後、専攻希望学生が益々増えることが予測され、定員増加を含めた今後の対応検討も必要となろう。

以上のことより、入学定員と実入学者数との関係は適正である。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

- ・ 広範にわたる学校の広報活動を展開し、受験生に「本校の期待する学生の姿」を明示し、多様な選択方法により多様な学生を入学させ学校に活気をもたらしている。
- ・ 推薦による選抜では、準学士課程、専攻科課程ともに学生の主体的な学習意欲に重点を置く小論文、面接、受験者の出身校での評価を記載した調査書等で総合的に判断している。

(改善を要する点)

- ・ 入学生がアドミッション・ポリシーに沿っているかを推薦入学生と学力入学生にわけ追跡調査など行うなど、さらに検証を行う必要がある。

(資料 4-3- -1)「本科最近 5 年間の入学者選抜状況」

年度	機械工学科		電気工学科		物質工学科		建設システム工学科		計	入学率	
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者			
14年度	58 (11)	41 (11)	79 (6)	40 (9)	85 (20)	40 (19)	59 (7)	40 (11)	247 (38)	93 (32)	1.8
15年度	62 (2)	48 (2)	47 (1)	40 (1)	47 (17)	40 (15)	39 (8)	40 (10)	196 (28)	90 (28)	1.2
16年度	53 (0)	40 (0)	81 (0)	40 (1)	80 (18)	40 (18)	38 (8)	40 (10)	227 (28)	80 (24)	1.8
17年度	58 (2)	40 (1)	58 (0)	40 (0)	43 (20)	40 (20)	58 (8)	40 (10)	214 (31)	90 (28)	1.3
17年度	53 (0)	40 (0)	47 (1)	40 (1)	46 (15)	40 (18)	40 (7)	40 (11)	187 (25)	90 (28)	1.2

(出典 高知高専ガイド 2006 P.20)

(資料 4-3- -2)「本科最近 5 年間の入学状況」

専攻科	機械・電気工学専攻 (入学定員 8 名)	物質工学専攻 (入学定員 4 名)	建設工学専攻 (入学定員 4 名)
第 1 期生	9 名 (男性 7 名、女性 2 名)	4 名 (男性 4 名)	7 名 (男性 6 名、女性 1 名)
第 2 期生	11 名 (男性 9 名、女性 2 名)	4 名 (男性 4 名)	6 名 (男性 5 名、女性 1 名)
第 3 期生	9 名 (男性 7 名、女性 2 名)	4 名 (男性 4 名)	5 名 (男性 4 名、女性 1 名)
第 4 期生	10 名 (男性 8 名、女性 2 名)	4 名 (男性 4 名)	6 名 (男性 5 名、女性 1 名)
第 5 期生	9 名 (男性 7 名、女性 2 名)	4 名 (男性 4 名)	5 名 (男性 4 名、女性 1 名)
第 6 期生	10 名 (男性 8 名、女性 2 名)	4 名 (男性 4 名)	6 名 (男性 5 名、女性 1 名)

出典 高知高専ホームページ専攻科
<http://www.kochi-ct.ac.jp/senkoka/senkoka.htm>

(3) 基準4の自己評価の概要

本科，編入学者，専攻科のアドミッション・ポリシーが明確に定められ，本科の選抜方法及びアドミッション・ポリシーは「学生募集要項」及び「中学生のみなさんへ 高知高専ガイド」で，編入学者選抜方法及びアドミッション・ポリシーは「編入学学生募集要項」で，専攻科の選抜方法及びアドミッション・ポリシーは「専攻科学生募集要項」で，学校の教職員に周知されている。また，将来の学生を含め社会に公表されている。

推薦入試については，面接内容をアドミッション・ポリシーに沿って分類した学科毎の面接を実施して，アドミッション・ポリシーに沿った学生の選抜に努めている。一方，本校本科の学力入試は全国一律の選抜方法に則っており，アドミッション・ポリシーに沿った選抜を行うことには限界があり，更なる工夫が必要である。

中学生，保護者及び中学校教員，入学者全員に対してアンケート調査を実施し集計し，その結果を入学者選抜の改善に役立てている。ただし，入学者数の確保に主眼をおいており，今後入学に至らなかった生徒の意見や，入学者の追跡調査等も必要と考える。

現在は，本科については定員どおりであり全く問題ない。専攻科では，本科での卒業研究を引き継いで専攻科学生が取り組むケースが多いが，入学定員を超えても専攻科担当教員が指導できる状況にあり問題ない。